



平成30年4月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年3月14日

上場会社名 Hamee株式会社

上場取引所 東

コード番号 3134 URL <http://hamee.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO・COO (氏名) 樋口 敦士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO・CAO (氏名) 水島 育大

TEL 0465-22-8043

四半期報告書提出予定日 平成30年3月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年4月期第3四半期の連結業績(平成29年5月1日～平成30年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年4月期第3四半期	7,051	14.0	1,037	36.4	921	30.6	625	27.9
29年4月期第3四半期	6,183	27.6	760	148.3	705	140.1	489	191.9

(注) 包括利益 30年4月期第3四半期 674百万円 (34.8%) 29年4月期第3四半期 500百万円 (201.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第3四半期	39.25	38.39
29年4月期第3四半期	31.12	30.19

(注) 当社は、平成28年11月1日付で1株につき2株の株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年4月期第3四半期	4,799	3,385	68.2	204.19
29年4月期	4,240	2,756	63.6	170.28

(参考) 自己資本 30年4月期第3四半期 3,273百万円 29年4月期 2,696百万円

(注) 当社は、平成28年11月1日付で1株につき2株の株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期		0.00		4.50	4.50
30年4月期		0.00			
30年4月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年4月期の連結業績予想(平成29年5月1日～平成30年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,320	9.6	1,161	5.0	1,157	10.4	755	8.5	47.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2 社 (社名) Hamee Shanghai Trade Co.,Ltd、Hamee India Pvt.Ltd、除外 社 (社名)

第1四半期連結会計期間より、Hamee Shanghai Trade Co.,Ltd及びHamee India Pvt.Ltd.は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年4月期3Q	16,034,400 株	29年4月期	15,837,600 株
期末自己株式数	30年4月期3Q	286 株	29年4月期	286 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年4月期3Q	15,932,236 株	29年4月期3Q	15,716,029 株

(注)当社は、平成28年11月1日付で1株につき2株の株式分割を行っておりますが、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 3 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 3 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、12月発表の日銀短観によると、好調な外需や設備投資、商品市況の改善等を背景に、大企業全産業のD I（業況判断指数）は前回調査より2ポイント上昇のプラス25と5期連続の改善となり回復基調が一段と鮮明になっておりますが、北朝鮮情勢や米国新政権の今後の政策への懸念、金融資本市場の変動の影響など、依然として先行きに対する不透明感が残る状況にあります。

このような経営環境のもと当社グループは、モバイル（スマートフォン及び携帯電話）アクセサリーの販売について、依然としてSNS等で好評を博している「iFace」シリーズなどの自社企画商品を中心に個性的な新商品を継続的にリリースしたほか、11月より販売が開始された「iPhone X」に対応する商品のスピーディな拡充など販売拡大に注力いたしました。また、自社開発のECバックオフィスシステム「ネクストエンジン」について、アパレル通販サイトとの連携を強化するアプリや、トランザクションレンディングサービスとのデータ連携アプリ等、プラットフォーム化のメリットを最大限に活用したサービスを展開したことに加え、EC事業者の最強パートナーへの進化を目的として、EC事業者向けコンサルティング事業会社、株式会社J Sコンサルティングの子会社化を決定するなど、持続的な成長に向けて事業展開を推し進めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,051百万円（前年同四半期比14.0%増）、営業利益は1,037百万円（同36.4%増）、経常利益は921百万円（同30.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は625百万円（同27.9%増）となりました。

なお、当社グループにおける業績のトレンドは、年末におけるクリスマス需要などの影響により、第3四半期連結会計期間の売上が他の四半期連結会計期間に比べて最も大きく、第2四半期と第4四半期連結会計期間は同水準、第1四半期連結会計期間が最も小さくなる傾向にあります。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。当社グループは、業績管理区分の一部見直しに伴い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後のセグメント区分に基づいております。セグメント情報に関する詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

① コマース事業

小売及び卸販売とも、引き続き「iFace」シリーズを中心とした、自社企画商品の販売が好調に推移いたしました。なお、「iPhone X」向け商品の卸販売が弱含んだものの、「iPhone 6 S」等の旧モデル向け商品が底堅く推移しているため、セグメント売上高については前年同四半期連結会計期間の実績を上回っております。

また1月には、オンラインモール「楽天市場」に出店している「スマホケースのHamee楽天市場店」が、4万店以上の店舗の中から選出される「楽天市場ショップ・オブ・ザ・イヤー2017」のスマートフォン・タブレット・周辺機器ジャンル大賞を受賞（3年連続7度目）するなど、市場において大きな存在感を示すことができました。この結果、コマース事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は6,124百万円（同12.6%増）、セグメント利益（営業利益）は1,315百万円（同40.5%増）となりました。

② プラットフォーム事業

アパレル通販サイトとの連携強化、トランザクションレンディングサービスとのデータ連携といったネクストエンジンをプラットフォーム化したメリットを活用したサービスを展開するなど、引き続きネクストエンジンの付加価値を向上させる様々な施策を行い、契約増加を図りました。これにより、総契約数2,969社（OEM除く、前連結会計年度末比327社増）、利用店舗数22,898店（同2,630店増、いずれも自社調べ）となりました。この結果、プラットフォーム事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は914百万円（同23.2%増）と堅調に推移いたしました。サポート人員やサーバー増強等の先行投資を継続したため、セグメント利益（営業利益）は313百万円（同4.7%増）となりました。

③ その他

コマース事業、プラットフォーム事業のいずれにも明確に分類できない新たなサービスに係るものであり、ネクストエンジンのメイン機能に紐づかないEC事業者向けのサービス等が含まれます。当第3四半期連結累計期間の売上高は12百万円、セグメント損益（営業損益）は先行投資フェーズであるため△53百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比べ559百万円増加し、4,799百万円となりました。これは主に、現金及び預金が271百万円、その他流動資産が165百万円、有形固定資産が194百万円、ソフトウェアが43百万円増加した一方で、関係会社株式が152百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べ69百万円減少し、1,414百万円となりました。これは主に、買掛金が82百万円、短期借入金が200百万円増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金が82百万円、未払法人税等が180百万円、未払金が24百万円、賞与引当金が26百万円、資産除去債務が19百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ629百万円増加し、3,385百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益625百万円の計上によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間につきましては、売上高、営業損益、経常損益ともに、概ね当初の計画どおりで推移しております。平成29年6月14日「平成29年4月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位 : 千円)

	前連結会計年度 (平成29年 4 月30日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成30年 1 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,324,074	1,595,721
売掛金	1,230,463	1,256,963
商品	740,403	752,819
仕掛品	—	830
貯蔵品	89	114
繰延税金資産	95,588	98,359
その他	194,091	359,903
貸倒引当金	△11,126	△12,042
流動資産合計	3,573,585	4,052,668
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	74,934	208,929
減価償却累計額	△47,852	△29,045
建物及び構築物 (純額)	27,082	179,884
工具、器具及び備品	142,519	246,822
減価償却累計額	△73,731	△135,597
工具、器具及び備品 (純額)	68,788	111,225
建設仮勘定	648	—
有形固定資産合計	96,519	291,109
無形固定資産		
ソフトウェア	152,325	195,971
商標権	64,144	41,300
その他	28	28
無形固定資産合計	216,498	237,300
投資その他の資産		
投資有価証券	565	177
関係会社株式	183,667	31,521
保険積立金	30,024	33,069
繰延税金資産	35,539	43,372
その他	99,979	109,631
投資その他の資産合計	349,776	217,773
固定資産合計	662,794	746,183
繰延資産		
株式交付費	3,724	677
繰延資産合計	3,724	677
資産合計	4,240,103	4,799,529

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	137,670	220,148
短期借入金	300,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	106,084	68,104
未払金	296,906	272,894
未払費用	114,575	112,070
未払法人税等	334,152	153,346
賞与引当金	66,000	39,390
返品調整引当金	6,198	4,127
ポイント引当金	997	1,048
資産除去債務	19,926	—
その他	25,247	17,863
流動負債合計	1,407,758	1,388,993
固定負債		
長期借入金	61,810	17,502
退職給付に係る負債	14,241	4,654
その他	—	2,976
固定負債合計	76,051	25,132
負債合計	1,483,810	1,414,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	528,051	533,048
資本剰余金	448,051	453,048
利益剰余金	1,692,469	2,225,034
自己株式	△261	△261
株主資本合計	2,668,311	3,210,870
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	28,541	63,200
その他の包括利益累計額合計	28,541	63,200
新株予約権	59,440	111,333
純資産合計	2,756,293	3,385,403
負債純資産合計	4,240,103	4,799,529

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第 3 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成28年 5 月 1 日 至 平成29年 1 月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成29年 5 月 1 日 至 平成30年 1 月31日)
売上高	6,183,174	7,051,723
売上原価	3,278,054	3,508,497
売上総利益	2,905,119	3,543,225
返品調整引当金戻入額	6,744	6,198
返品調整引当金繰入額	9,356	4,127
差引売上総利益	2,902,508	3,545,295
販売費及び一般管理費	2,141,519	2,507,683
営業利益	760,989	1,037,611
営業外収益		
受取利息	112	263
受取補償金	820	1,934
その他	1,675	1,600
営業外収益合計	2,608	3,798
営業外費用		
支払利息	2,084	2,106
市場変更費用	22,257	—
支払保証料	2,895	5,043
持分法による投資損失	5,836	69,585
株式交付費償却	3,047	3,047
為替差損	19,883	36,625
その他	1,788	3,426
営業外費用合計	57,791	119,834
経常利益	705,805	921,576
特別損失		
固定資産除却損	324	2,119
商品回収関連費用	37,484	—
事務所移転費用	—	3,625
特別損失合計	37,808	5,745
税金等調整前四半期純利益	667,997	915,830
法人税、住民税及び事業税	219,156	299,004
法人税等調整額	△40,170	△8,540
法人税等合計	178,986	290,463
四半期純利益	489,010	625,366
親会社株主に帰属する四半期純利益	489,010	625,366

(四半期連結包括利益計算書)
 (第 3 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成28年 5 月 1 日 至 平成29年 1 月 31 日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成29年 5 月 1 日 至 平成30年 1 月 31 日)
四半期純利益	489,010	625,366
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	11,514	49,250
その他の包括利益合計	11,514	49,250
四半期包括利益	500,525	674,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	500,525	674,617
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年5月1日至平成29年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	コマース事業	プラット フォーム事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	5,440,899	742,274	6,183,174	—	6,183,174	—	6,183,174
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,440,899	742,274	6,183,174	—	6,183,174	—	6,183,174
セグメント利益 又は損失(△)	936,522	299,333	1,235,856	—	1,235,856	△474,867	760,989

(注)セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年5月1日至平成30年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	コマース事業	プラット フォーム事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	6,124,694	914,403	7,039,097	12,625	7,051,723	—	7,051,723
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,124,694	914,403	7,039,097	12,625	7,051,723	—	7,051,723
セグメント利益 又は損失(△)	1,315,727	313,356	1,629,083	△53,054	1,576,028	△538,416	1,037,611

(注)セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(1) 「その他」区分の新設

新規事業の取り組み強化を目的とした組織変更(事業部制の廃止)に伴って管理区分の見直しを行い、コマース事業、プラットフォーム事業のいずれにも明確に分類できない新たなサービス(ネクストエンジンのメイン機能に紐づかないEC事業者向けのサービス等)について、「その他」として記載する方法に変更しております。

(2) 全社的な管理費用の配賦方法の変更

当社の管理部門については、連結経営が進む中で従前に増してグループ一体経営を目的とした戦略機能としての意味合いが強くなったため、第1四半期連結会計期間から、コマース事業及びプラットフォーム事業に配賦していた全社的な管理費用を「調整額」として記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。